

平和への誓い～平和とは～

わたしたちは、六年生になって「平和について考えよう」というテーマで、平和に関する学習を始めました。まず始めに、わたしたちは「平和って何だろう」と話し合いました。

平和とは…、

「戦争がない」「食べ物が食べられる」「安心・安全に暮らせる」「家族と暮らせる」「みんなと過ごせる」「学べる」「みんなが笑顔でいられる」「自由に行動できる」「自由に発言できる」「自然が豊か」…

これらが、わたしたちが話し合った平和です。

わたしたちが住む西田地区は、とても自然が豊かです。地域の人たちも優しく温かく、わたしたちを見守ってくださっています。そして、家族や友達と楽しく過ごし学べているし、いじめもないし、自由に話せるし、食べ物もあり、たくさん笑うことができます。もちろん、戦争もありません。わたしたちは、今、とても幸せで、平和だと思います。

しかし、日本も七十七年前には戦争をしていました。その戦争では、数え切れないほどの尊い多くの命が失われたことを知りました。泣き叫びたくなるような悲しくつらい思いだったと思います。また、命を落とさなくても、学童疎開などで家族と離ればなれで暮らさなくてはならなかったり、食べ物や衣服も配給だったり、自由な行動や発言ができなかったりしたということも知りました。それは、今のわたしたちが想像できないくらい苦しいことだったと思います。

そして、わたしたちが住むこの出雲にも、大社基地など様々な戦争のつめ跡が残っていることを知りました。終戦近くの昭和二十年七月二十八日には、わたしたちの住む西田地区の上空周辺にもアメリカの戦闘機が飛来したと知り、おどろきました。その時いつものように川遊びをしていて、恐ろしい思いをされた方のお話も聞きました。戦争を体験された方は、みなさんが、「戦争は二度とあってはいけない。」と話しておられました。

ぼくたちは社会科の学習で、日本国憲法の柱の一つ、「平和主義」を学びました。憲法第九条には、「戦争の放棄」と書かれています。日本は、それ以後戦争をしていませんが、世

界では今も戦争や紛争をしている国がたくさんあります。むしろ、戦争や紛争をしている国の
方が多いと知り、とてもおどろきました。ぼくたちのような子どもも、たくさんつらい思いをして
いるのです。

ぼくたちにできることは何だろう。今、戦争を体験したことがある人がだんだん高齢化し、
戦争のことを伝える人が少なくなってきています。だからこそ、ぼくはぼくたちのような若い世
代が、戦争について学び、その悲惨さを伝えていかなければならないと思います。ぼくたち
は、平和について学び始めたばかりで、知らないことがまだまだたくさんあります。だから、こ
れからもいろいろ学び、考えていきたいと思っています。少しでも多くの人に戦争の悲惨さを知っ
てもらえるよう、学んだことを伝えていけたらいいと思います。

「平和とは何だろう。」まずはみんなが「平和とは何か」を考えることが大切だと思います。

そして、家族がいる、友達がいる、学校に通える、学べる、自由に言える、行動できる、笑
い合えるという身近なところにある、あたりまえの平和に感謝して生きていくことが大切だ
と思います。家族に、友達に、周りの支えてくれる人に感謝し、笑顔にしていきたいと思いま
す。平和な社会にしていけるよう、自分たちにできる身近なことから実行していきたいと思いま
す。

令和4年8月11日

出雲市立西田小学校6年

安食 優	勝部 みゆ	清水 彩里
福田 千紗季	福田 蓮	山根 愛翔